

# 2025年1月 共通テストが変わる！

## 新課程入試のポイント

※この記事は2024年4月時点の情報に基づいています。最新の情報は大学入試センターのウェブサイトでご確認ください。

制作：学習参考書協会 文責：教学社

現高校3年生から学習指導要領が改訂されており、2025年1月の大学入学共通テストは新課程で実施されます。新課程の共通テストでは新教科「情報」が導入されるなど、変更点がいくつかあります。2022年11月に公表された新課程の試作問題など、現時点で発表されている内容から変更のポイントをまとめました。



### 新教科「情報」は国立大学で必須！ 原則「6教科8科目」受験に

2025年度からは出題科目が6教科30科目から7教科21科目に整理されます。前身のセンター試験を通じて初となる新教科「情報」の導入はあるものの、大枠はそれほど変わりません。

「情報」は国立大学協会が「すべての国立大学で課す」と発表しています。国立大学の受験生はこれまで5教科7科目受験が原則でしたが、2025年度からは6教科8科目の受験が原則となります。科目数が増えますので、計画的に学習を進める必要があります。

#### ●共通テストの出題教科・科目 現行課程／新課程の比較

旧課程		新課程（2025年1月～）	
6教科30科目		7教科21科目	
教科	出題科目	教科	出題科目
国語	『国語』	国語	『国語』 試験時間：80分→90分 現代文：2問100点→3問110点 古典：2問100点→2問90点 「実用文」が新たに出題（図や資料）
地理歴史	『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』	地理歴史	『地理総合、地理探究』『歴史総合、日本史探究』『歴史総合、世界史探究』 『地理総合／歴史総合／公共』（このうち2科目を選択）
公民	『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	公民	『公共、倫理』『公共、政治・経済』 難関大では選択不可
数学	①『数学Ⅰ』『数学Ⅰ・数学A』 ②『数学Ⅱ』『数学Ⅱ・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』	数学	①『数学Ⅰ』『数学Ⅰ、数学A』 ②『数学Ⅱ、数学B、数学C』 試験時間：60分→70分
理科	①『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』（このうち2科目を選択） ②『物理』『化学』『生物』『地学』	理科	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』（このうち2科目を選択） 『物理』『化学』『生物』『地学』
外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	外国語	『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』
		情報	『情報Ⅰ』 国立大学協会「すべての国立大学で課す」



## 『国語』で「実用文」が出題！？

『国語』では現代文が2問から3問に増え、試験時間も80分から90分になることが発表されています。追加される問題として公表された試作問題はグラフや図の内容を読み取らせる内容で、これまでにないものでした。従来の評論（論理的な文章）・小説（文学的な文章）に加えて、「実用的な文章」が新たに出題されると見られています。



## 「地理歴史・公民」は科目の組み合わせに注意！

国立大学の文系学部をみざす場合、多くの大学で「地理歴史・公民」の6科目から2科目の受験が求められます。その際、『公共・倫理』と『公共・政治・経済』など、選択できない組み合わせがありますので注意しましょう。また、『地理総合／歴史総合／公共』は東京大学や京都大学などの難関大学では利用できません。受験科目が足りないと出願できなくなりますから、受験する可能性がある大学・学部が指定する科目を必ず確認してください。



## 「情報」の配点比率は大学・学部によってさまざま

すべての国立大学が「情報」を利用することを発表していますが、利用方法は大学・学部によってさまざまです。素点で配点するところもあれば、半分に圧縮するところもあります。他教科よりも配点比率が高いケースがある一方で、北海道大学のように「受験は必要だが配点しない」という大学もあります。大学が指定する科目の配点も確認し、優先順位をつけて学習に取り組みましょう。



## 「共通テスト用プログラム表記」とは？

高校の「情報Ⅰ」の授業ではPythonやJavaScriptといったプログラミング言語を学びます。試作問題でもプログラムのソースコードを読み取る問題がありましたが、その言語はPythonでもJavaScriptでもなく、まったく独自の「共通テスト用プログラム表記」でした。ただし、プログラミングの知識があれば理解できるものですので、特別な学習は必要ありません。



## 「数学②」は数学Cが加わり出題分野が拡大

数学②では『数学Ⅱ・B』だったのが、「数学C」が加わって『数学Ⅱ、B、C』となります。従来は「数学B」の3分野から2分野を選択解答させる形式でしたが、新課程の試作問題は「数学B、C」の4分野から3分野を選択解答させるものでした。解答する分野が広がり、試験時間も10分増えて70分になります。共通テストでは時間配分も重要です。本番を想定した練習を重ねましょう。



## 国公立大二次試験や私大入試はどうなるのか

共通テストでは、変更が大きい「地理歴史・公民」「数学」「情報」については経過措置があり、浪人生は旧課程科目を選択することができます。一方、国公立大学の二次試験や私大入試では「新旧両課程に共通の範囲から出題する」という対応がふつうです。つまり、履修内容で有利不利がでるような試験内容の変更はなされないということです。実際これまでも、新課程入試で出題内容や出題傾向が大きく変わることはありませんでした。大きな変更がある場合は大学が予告・周知することになっていますので、安心して学習に取り組んでください。